

第4回 小浜市水道料金等制度審議会（下水道使用料制度）

日時 令和8年5月21日（木）19時30分から
場所 小浜市役所 4階 大会議室

次 第

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 確認事項

- ・第3回会議録の確認

4. 議 事

- ・前回（第3回）の質疑に対する回答について
- ・公共下水道の使用料のあり方について

5. 次回の開催日程について

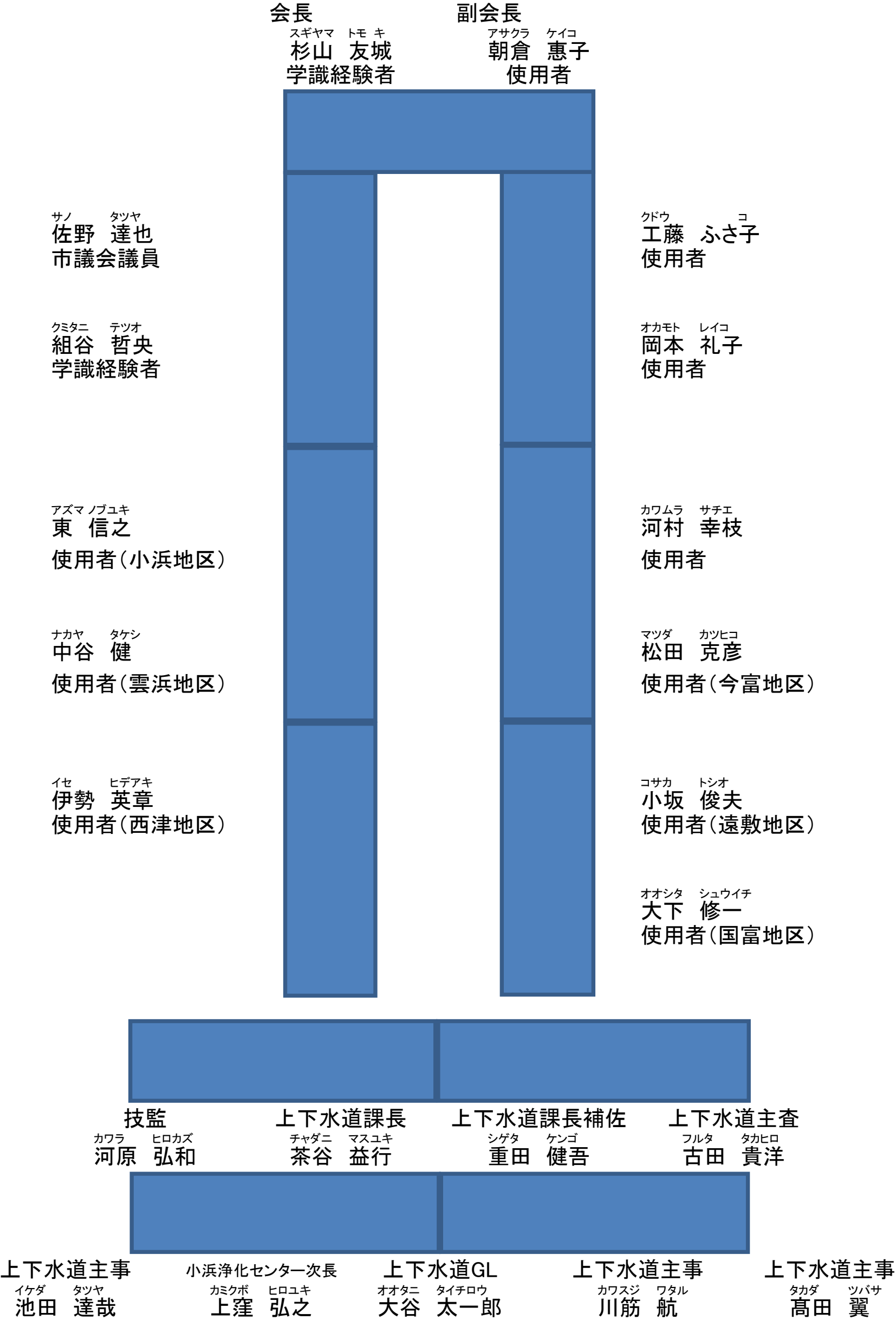
令和8年 月 日（ ） 時 分～

6. その他

7. 閉 会

第4回 小浜市水道料金等制度審議会(下水道使用料制度)
席表

令和8年5月21日(木)19:30～
小浜市役所4F／大会議室



小浜市水道料金等制度審議会（下水道使用料制度）委員名簿

令和8年5月21日

NO	代 表	地 区 等	氏 名	備 考
1	市議会議員	小浜市議会産業教育 常任委員会委員長	サノ タツヤ 佐野 達也	
2	学識経験者	福井県立大学 地域政策学部 地域イノベーション学科教授	スギヤマ トモキ 杉山 友城	会長
3	〃	小浜商工会議所 副会頭	ヤマダ ヒデアキ 山田 秀晃	
4	〃	北陸税理士会 小浜支部	クミタニ テツオ 組谷 哲央	
5	下水道使用者	小浜	アズマ ノブユキ 東 信之	
6	〃	雲浜	ナカヤ タケン 中谷 健	
7	〃	西津	イセ ヒデアキ 伊勢 英章	
8	〃	国富	オオシタ シュウイチ 大下 修一	
9	〃	遠敷	コサカ トシオ 小坂 俊夫	
10	〃	今富	マツダ カツヒコ 松田 克彦	
11	〃	有限会社せくみ屋	フジハラ セイジ 藤原 清次	
12	〃	株式会社ママーストアー	カワムラ サチエ 河村 幸枝	
13	〃	杉田玄白記念公立小浜病院	オカモト レイコ 岡本 礼子	
14	〃	小浜男女共同参画ネット ワーク	アサクラ ケイコ 朝倉 恵子	副会長
15	〃	〃	クドウ コ 工藤 ふさ子	

事務局（上下水道課）

技監	カワラ ヒロカズ 河原 弘和	上下水道課長	チャダニ マスユキ 茶谷 益行
下水建設管理グループ	オオタニ タイチロウ 大谷 太一郎	浄化センター次長	カミクボ ヒロユキ 上窪 弘之
上下水道経営グループ	シゲタ ケンゴ 重田 健吾	フルタ タカヒロ 古田 貴洋	タカダ ツバサ 高田 翼
	イケダ タツヤ 池田 達哉	カワスジ ワタル 川筋 航	

前回の質疑に対する回答

資料 2

第3回審議会の質疑に対して回答します。

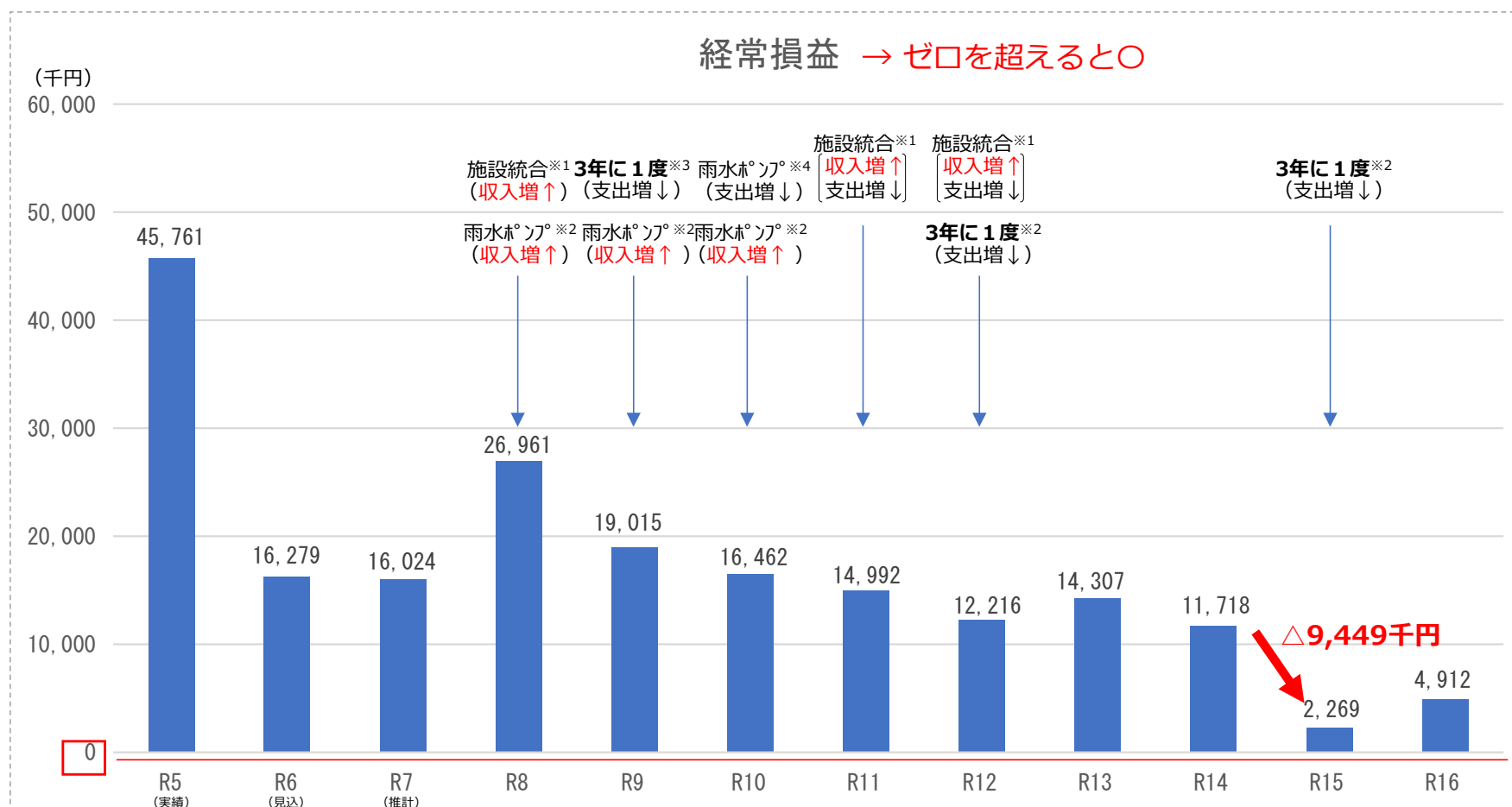
番号	質疑	回答	第3回 スライド
1	令和16年度までの経常損益の推移において、令和15年度が低い理由。	3年に1度発生する、脱臭剤の交換や運搬・処分に係る薬品費や委託料が主な要因です。 (本資料P2～P9にて説明)	P19

小浜市下水道事業会計の概要と状況について

■ 経常損益の見通し

経常損益 = 収益的収入 - 収益的支出

経常損益は黒字となり、使用料や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理経費や支払利息等の費用を賄える見通しです。

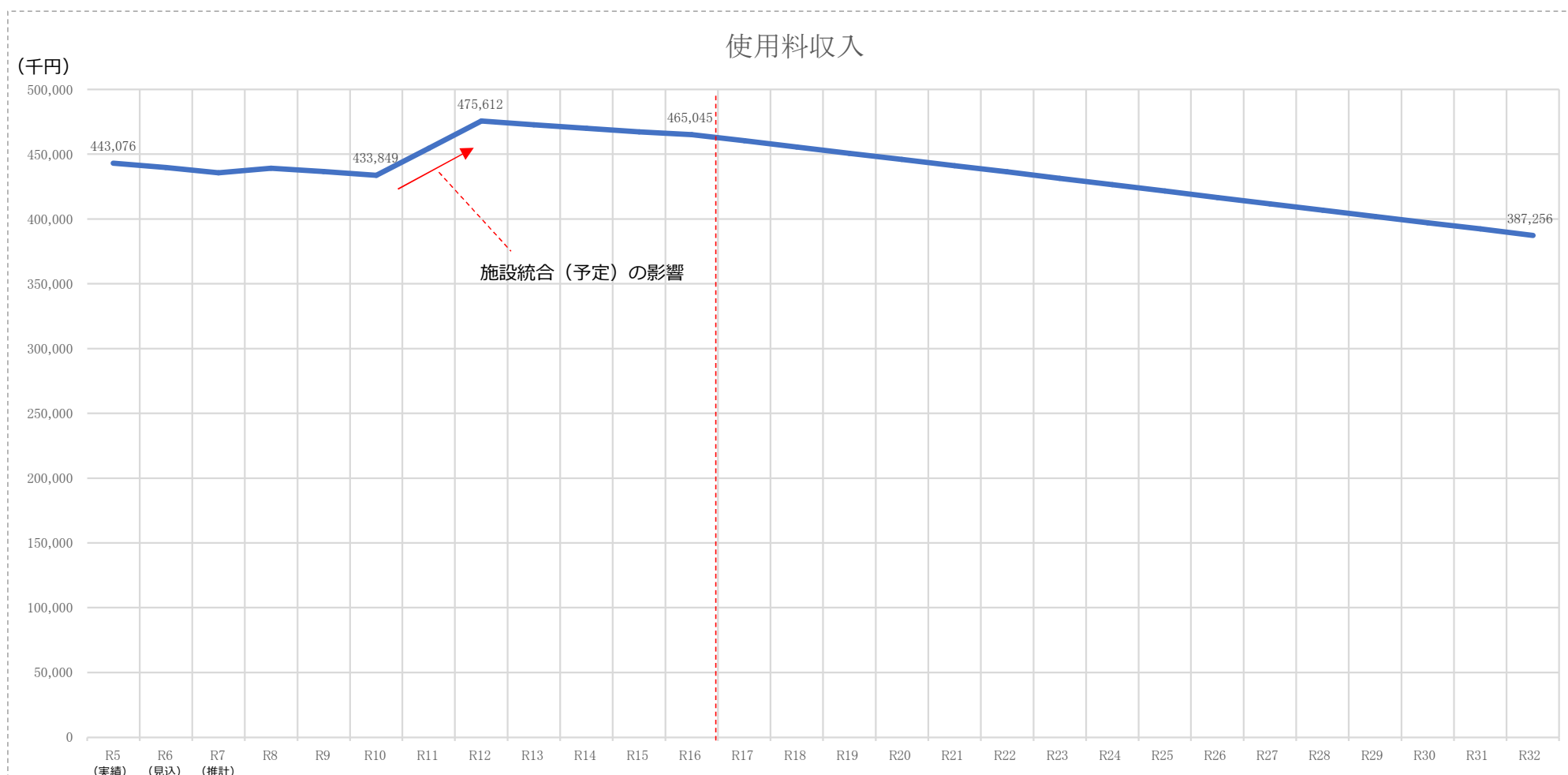


※1：施設統合（経営戦略改定時点の計画）で区域内人口増加が増加することによる使用料収入の増加や、処理水量の増加に伴う維持管理経費の増加を見込む。
 ※2：雨水ポンプ場の整備に伴う一般会計からの繰入りの増加を見込む。 ※3：3年に1度生じる脱臭剤の交換や運搬・処分に係る薬品費や委託料を見込む。
 ※4：雨水ポンプ場の稼働に伴う維持管理経費の増加を見込む。

小浜市下水道事業会計の概要と状況について

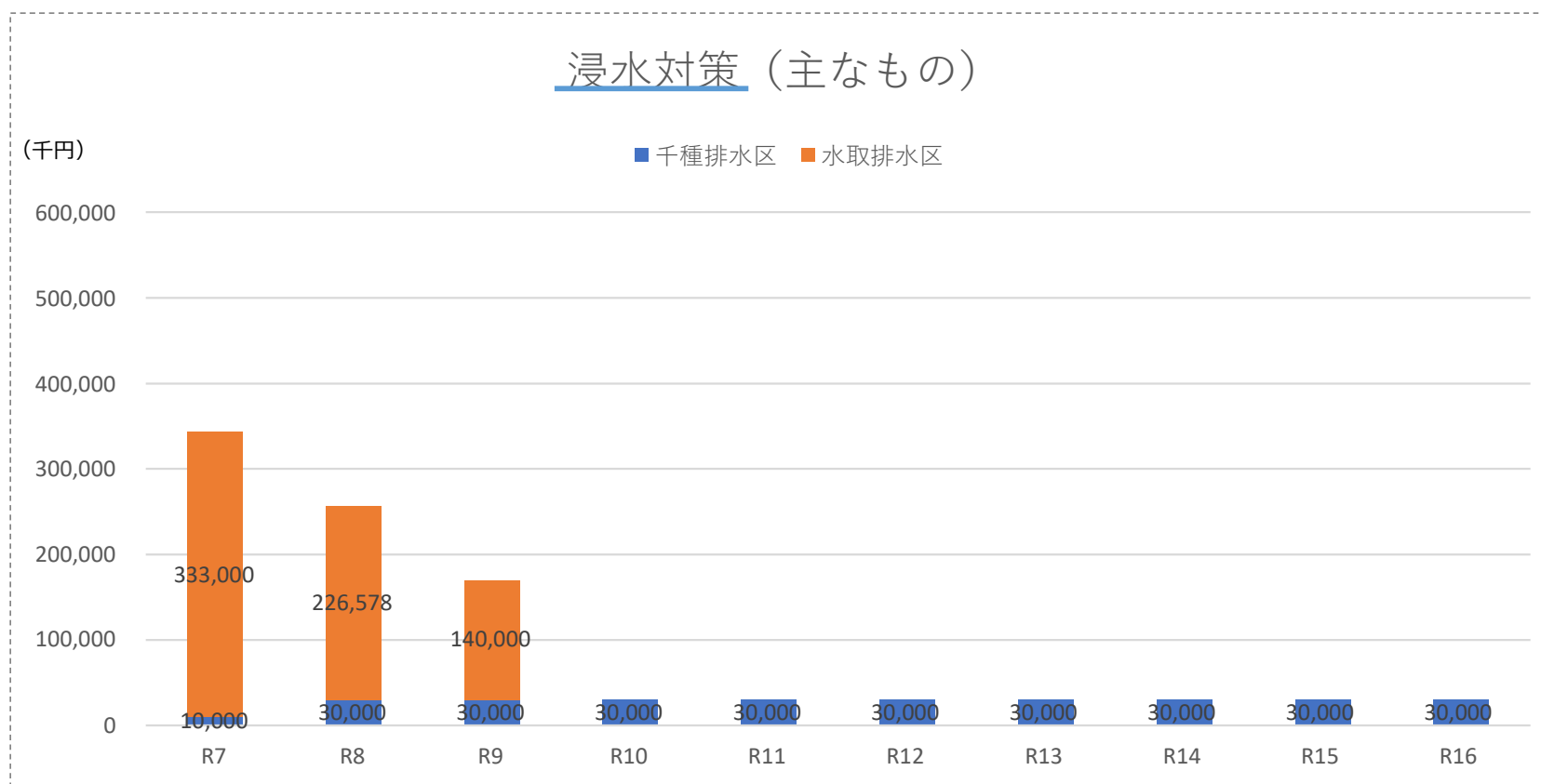
■ 使用料収入の見通し

人口減少に伴う区域内人口の減少の要因と、農業集落排水施設の統合による区域内人口の増加の要因により、一旦増加する年度がありますが、その後は減少する見込みです。



小浜市下水道事業会計の概要と状況について

■ 今後の投資計画※（主なもの②）



	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
千種排水区	千種地係 他									
水取排水区	水取地係									

小浜市下水道事業会計の概要と状況について

■ 今後の収支見通しにおける投資計画以外の検討条件

区分				
収益的収支	収益的収入	営業収入	料金収入	国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」で示されている小浜市の人口推移、今後の水洗化率の見込、過去の使用料収入実績、有収水量見込を用いて計上しています。
			その他	主に一般会計からの雨水処理負担金です。財政部局との取り決めにに基づき計上しています。
		営業外収入	他会計補助金	一般会計からの補助金です。財政部局との取り決めにに基づき計上しています。
			その他補助金	主に国管理河川での作業受託費です。決算値を参考に計上しています。
			長期前受金戻入	減価償却に合わせて、前年度までの資産取得で受領した補助金の額や今後の取得資産で受領する見込みの補助金額を算定し収益化する額としています。
			その他	その他営業収益、雑収益等です。決算値を参考に計上しています。
	収益的支出	営業費用	職員給与費	令和7年度は予算額を基に決算見込み額としています。 令和8年度は過去の実績を基に上昇率※1を考慮して計上しています。 令和9年度以降は前年度値に上昇率※1を考慮して計上しています。
			経費	令和7年度は予算額を基に決算見込み額としています。 令和8年度は過去の実績を基に上昇率※2を考慮して計上しています。 令和9年度以降は前年度値に上昇率※2を考慮して計上しています。 また、流入水量の変動に伴い増減が見込まれることから、上記の料金収入算定で用いた有収水量の増減率を反映しています。
			減価償却費	取得資産および今後の取得見込資産で費用化する額を計上しています。資産減耗費を含めています。
		営業外費用	支払利息	借り入れた企業債の支払利息と、今後借入予定の企業債の利息を合算し計上しています。 今後借入予定の企業債利息は次項の企業債借入条件をもとに計上しています。
			その他	その他営業費用、雑支出等です。決算値を参考に計上しています。

※1:令和7年度以降の上昇率は経済・物価情勢の展望（日本銀行 2024年10月）の消費者物価指数の値。

令和7年度：1.9%、令和8年度：1.9%、令和9年度以降は値がないため1.9%で計上。

※2:経済・物価情勢の展望（日本銀行 2024年10月）の消費者物価指数の値。

令和7年度：1.9%、令和8年度：1.9%、令和9年度以降は値がないため1.9%で計上。

小浜市下水道事業会計の概要と状況について

【第3回スライドP15に加筆】

公共
下水

■ 収益的収支等の見通し →収入と支出の主な増加見込箇所等を赤字で表記（黄色網掛けは主要要因）

	R7 (予算)	R8 (推計)	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	(単位千円) R16
収益的収入	1,176,091	1,211,684	1,218,766	1,239,337	1,323,572	1,403,332	1,413,695	1,410,686	1,409,678	1,421,837
営業収入	516,534	531,315	536,334	545,436	566,528	587,022	582,769	573,128	557,558	554,311
料金収入	435,735	施設 統合 439,215 +3,480	436,612	433,849	施設 統合 454,555 +20,706	施設 統合 475,612 +21,057	472,746	469,944	467,394	465,045
その他 (主に雨水分線入)	80,799	雨水 ポンプ 92,100 +11,310	雨水 ポンプ 99,722 +7,622	雨水 ポンプ 111,587 +11,865	111,973	111,410	110,023	103,184	90,164	89,266
営業外収入	659,557	680,369	682,432	693,901	757,044	816,310	830,926	837,558	852,120	867,526
他会計補助金	358,628	362,865	358,054	358,886	387,171	413,103	419,095	421,523	427,863	434,809
その他補助金	527	537	547	558	568	579	590	601	613	624
長期前受金戻入	298,788	315,353	322,217	332,843	367,691	401,014	409,627	413,820	422,030	430,478
その他	1,614	1,614	1,614	1,614	1,614	1,614	1,614	1,614	1,614	1,614
収益的支出	1,160,067	1,184,723	1,199,751	1,222,875	1,308,580	1,391,116	1,399,388	1,398,968	1,407,409	1,416,925
営業費用	1,017,883	1,043,800	1,062,629	1,083,217	1,167,392	1,253,806	1,265,976	1,270,772	1,283,633	1,297,095
職員給与費	34,855	35,125	35,792	36,472	37,166	37,871	38,590	39,323	40,070	40,830
経費	278,842	274,653	3年 1度 284,140 +9,487	雨水 ポンプ 288,152 +4,012	施設 統合 307,340 +19,188	3年 1度 333,566 +26,226	施設 統合 331,251	335,215	3年 1度 345,598 +10,383	343,772
減価償却費	704,186	734,022	742,697	758,593	822,886	882,369	896,135	896,234	897,965	912,493
営業外費用	142,184	140,923	137,122	139,658	141,188	137,310	133,412	128,196	123,776	119,830
支払利息	134,770	133,509	133,908	136,444	137,974	134,096	130,198	124,982	120,562	116,616
その他	7,414	7,414	3,214	3,214	3,214	3,214	3,214	3,214	3,214	3,214
収支の差額	16,024	26,961	19,015	16,462	14,992	12,216	14,307	11,718	2,269	4,912
特別損益	△ 155	△ 155	△ 155	△ 155	△ 155	△ 155	△ 155	△ 155	△ 155	△ 155
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別損失	155	155	155	155	155	155	155	155	155	6 155
当期純利益	15,869	26,806	18,860	16,307	14,837	12,061	14,152	11,563	2,114	4,757
繰越利益剰余金 または繰越欠損金	△ 241,106	△ 214,300	△ 195,440	△ 179,133	△ 164,296	△ 152,235	△ 138,083	△ 126,520	△ 124,406	△ 119,649

小浜市下水道事業会計の概要と状況について

■ 収益的収支等の見通し →経費の内訳と主な増加見込箇所や理由を赤字・注記等で表記

(単位千円)

	R7 (予算)	R8 (推計)	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
収益的支出	1,160,067	1,184,723	1,199,751	1,222,875	1,308,580	1,391,116	1,399,388	1,398,968	1,407,409	1,416,925
営業費用	1,017,883	1,043,800	1,062,629	1,083,217	1,167,392	1,253,806	1,265,976	1,270,772	1,283,633	1,297,095
職員給与費	34,855	35,125	35,792	36,472	37,166	37,871	38,590	39,323	40,070	40,830
経費	278,842	274,653	284,140	288,152	307,340	333,566	331,251	335,215	345,598	343,772
(内訳)										
動力費	32,766	32,236	32,621	32,997	35,195	37,488	37,933	38,387	38,865	39,366
修繕費	15,019	17,610	17,821	18,027	19,228	20,481	20,724	20,972	21,235	21,509
材料費	320	745	754	763	813	866	876	886	897	908
路面復旧費	15,001	11,916	12,059	12,198	13,010	13,858	14,022	14,190	14,367	14,552
薬品費	14,416	11,278	14,913	11,545	12,314	16,616	13,272	13,431	17,099	13,774
			+3,635※1			+4,302※1			+3,668※1	
委託料	154,705	161,415	166,047	172,235	183,704	198,374	197,996	200,366	205,565	205,479
			+4,632※1	+6,188※2	+11,469※3	+14,670※1※3			+5,199※1	
その他	46,615	39,453	39,925	40,387	43,076	45,883	46,428	46,983	47,570	48,184
減価償却費	704,186	734,022	742,697	758,593	822,886	882,369	896,135	896,234	897,965	912,493
営業外費用	142,184	140,923	137,122	139,658	141,188	137,310	133,412	128,196	123,776	119,830
支払利息	134,770	133,509	133,908	136,444	137,974	134,096	130,198	124,982	120,562	116,616
その他	7,414	7,414	3,214	3,214	3,214	3,214	3,214	3,214	3,214	3,214

※1:3年に1度発生する、脱臭剤の交換や運搬・処分に係る薬品費や委託料を見込む影響。 ※2:雨水ポンプ場（水取）の稼働に伴う維持管理経費の増加を見込む影響。

※3:施設統合による処理水量の増加に伴う維持管理経費の増加を見込む影響。

小浜市下水道事業会計の概要と状況について

■ 収益的収支等の見通し →経費のより詳細な内訳を表記

(単位千円)

	R7 (予算)	R8 (推計)	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
経費	278,842	274,653	284,140	288,152	307,340	333,566	331,251	335,215	345,598	343,772
(内訳) 管渠費	42,684	38,448	38,909	39,358	41,979	44,713	45,243	45,785	46,356	46,953
ポンプ場費	17,663	17,921	18,135	25,345	27,032	28,793	29,134	29,482	29,849	30,234
処理場費	180,351	181,974	190,352	186,280	198,685	217,832	214,145	216,708	225,613	222,241
その他	38,144	36,310	36,744	37,169	39,644	42,228	42,729	43,240	43,780	44,344
動力費	32,766	32,236	32,621	32,997	35,195	37,488	37,933	38,387	38,865	39,366
(内訳) 管渠費	4,006	2,857	2,891	2,924	3,119	3,322	3,361	3,401	3,443	3,487
ポンプ場費	4,016	4,049	4,097	4,144	4,420	4,708	4,764	4,821	4,881	4,944
処理場費	24,744	25,330	25,633	25,929	27,656	29,458	29,808	30,165	30,541	30,935
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	15,019	17,610	17,821	18,027	19,228	20,481	20,724	20,972	21,235	21,509
(内訳) 管渠費	3,466	8,132	8,229	8,324	8,878	9,456	9,568	9,683	9,804	9,930
ポンプ場費	3,435	3,134	3,172	3,209	3,423	3,646	3,689	3,733	3,780	3,829
処理場費	6,310	5,761	5,830	5,897	6,290	6,700	6,780	6,861	6,947	7,037
その他	1,808	583	590	597	637	679	687	695	704	713
材料費	320	745	754	763	813	866	876	886	897	908
(内訳) 管渠費	0	60	61	62	66	70	71	72	73	74
ポンプ場費	0	91	92	93	99	105	106	107	108	109
処理場費	0	515	521	527	562	599	606	613	621	629
その他	320	79	80	81	86	92	93	94	95	96

小浜市下水道事業会計の概要と状況について

■ 収益的収支等の見通し →経費のより詳細な内訳と主な増加見込箇所や理由を赤字・注記等で表記

	R7 (予算)	R8 (推計)	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	(単位千円) R16
路面復旧費	15,001	11,916	12,059	12,198	13,010	13,858	14,022	14,190	14,367	14,552
(内訳) 管渠費	15,001	11,916	12,059	12,198	13,010	13,858	14,022	14,190	14,367	14,552
ポンプ場費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
処理場費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
薬品費	14,416	11,278	14,913	11,545	12,314	16,616	13,272	13,431	17,099	13,774
(内訳) 管渠費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ポンプ場費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
処理場費	14,416	11,278	11,413	11,545	12,314	13,116	13,272	13,431	13,599	13,774
〃 3年に1度			※1 3,500			※1 3,500			※1 3,500	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託料	154,705	161,415	166,047	172,235	183,704	198,374	197,996	200,366	205,565	205,479
(内訳) 管渠費	8,628	9,914	10,033	10,149	10,825	11,530	11,667	11,807	11,954	12,108
ポンプ場費	8,260	8,807	8,912	※2 16,015	17,081	18,194	18,410	18,630	18,862	19,105
処理場費	123,450	127,808	129,338	130,833	※3 139,545	※3 148,638	150,402	152,202	154,101	156,087
〃 3年に1度			※1 2,700			※1 2,700			※1 2,700	
その他	14,367	14,886	15,064	15,238	16,253	17,312	17,517	17,727	17,948	18,179
その他	46,615	39,453	39,925	40,387	43,076	45,883	46,428	46,983	47,570	48,184
(内訳) 管渠費	11,583	5,569	5,636	5,701	6,081	6,477	6,554	6,632	6,715	6,802
ポンプ場費	1,952	1,840	1,862	1,884	2,009	2,140	2,165	2,191	2,218	2,247
処理場費	11,431	11,282	11,417	11,549	12,318	13,121	13,277	13,436	13,604	13,779
その他	21,649	20,762	21,010	21,253	22,668	24,145	24,432	24,724	25,033	25,356

※1:3年に1度発生する、脱臭剤の交換や運搬・処分に係る薬品費や委託料を見込む。 ※2:雨水ポンプ場（水取）の稼働に伴う維持管理経費の増加を見込む影響。

※3:施設統合による処理水量の増加に伴う維持管理経費の増加を見込む影響。

第4回

小浜市水道料金等制度審議会 (下水道使用料制度)

日時 令和8年5月21日(木) 午後7時30分～
場所 小浜市役所 4階 大会議室

議事等

1. 今後の収支における懸念事項の確認
2. 過去の審議会における維持管理費、資本費と使用料等の関係に関する基本的な考え方の確認
3. 公共下水道の使用料のあり方についての審議（使用料改定の有無等）
4. 平成28年度に策定した経営戦略の取り組みに対する評価の確認

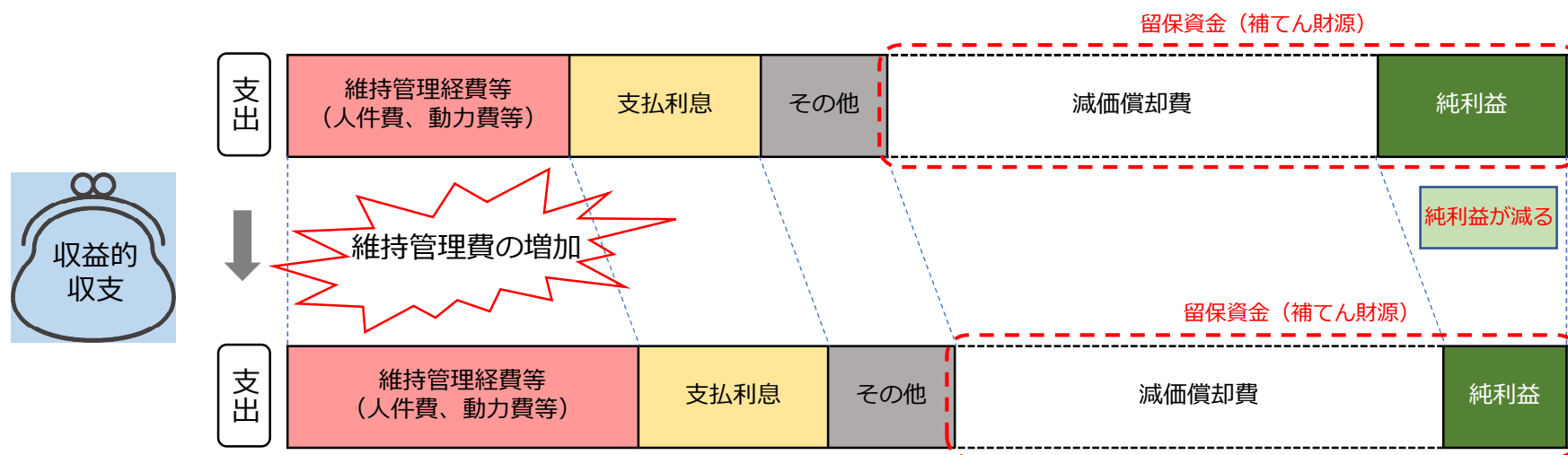
※経営戦略の改定を行った令和7年1月時点の実績や見通し等を表示しています。

小浜市下水道事業会計の概要と状況について

■ 収益的収支における懸念事項

- 人口減少等に伴って、下水道使用料は減少傾向。
- 人件費や物価上昇等により維持管理に係る費用の負担が増加する可能性。

➡ 留保資金の減少や一般会計からの繰入額の増加が懸念される。



減価償却費は経営状況に左右されない

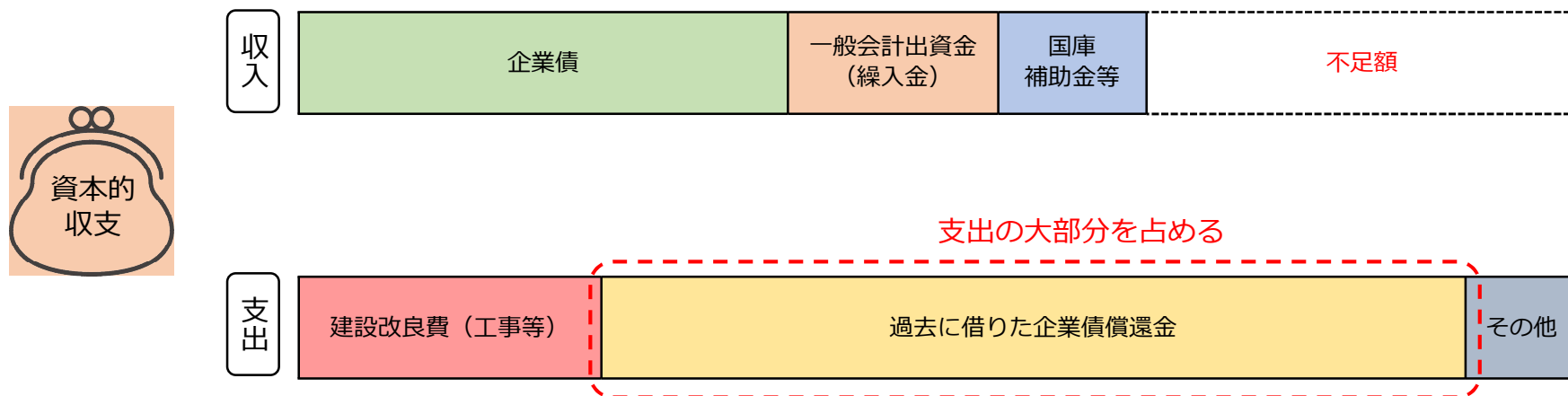
→保有している固定資産の数、種類、保有年数等に応じて算出

小浜市下水道事業会計の概要と状況について

■ 資本的収支における懸念事項

- ・ 今後抱える更新工事等に係る建設改良工事の増加が見込まれる。
- ・ 過去に借りた企業債の占める割合が大きい。

➡ 支出額の大幅な削減が困難な状況。

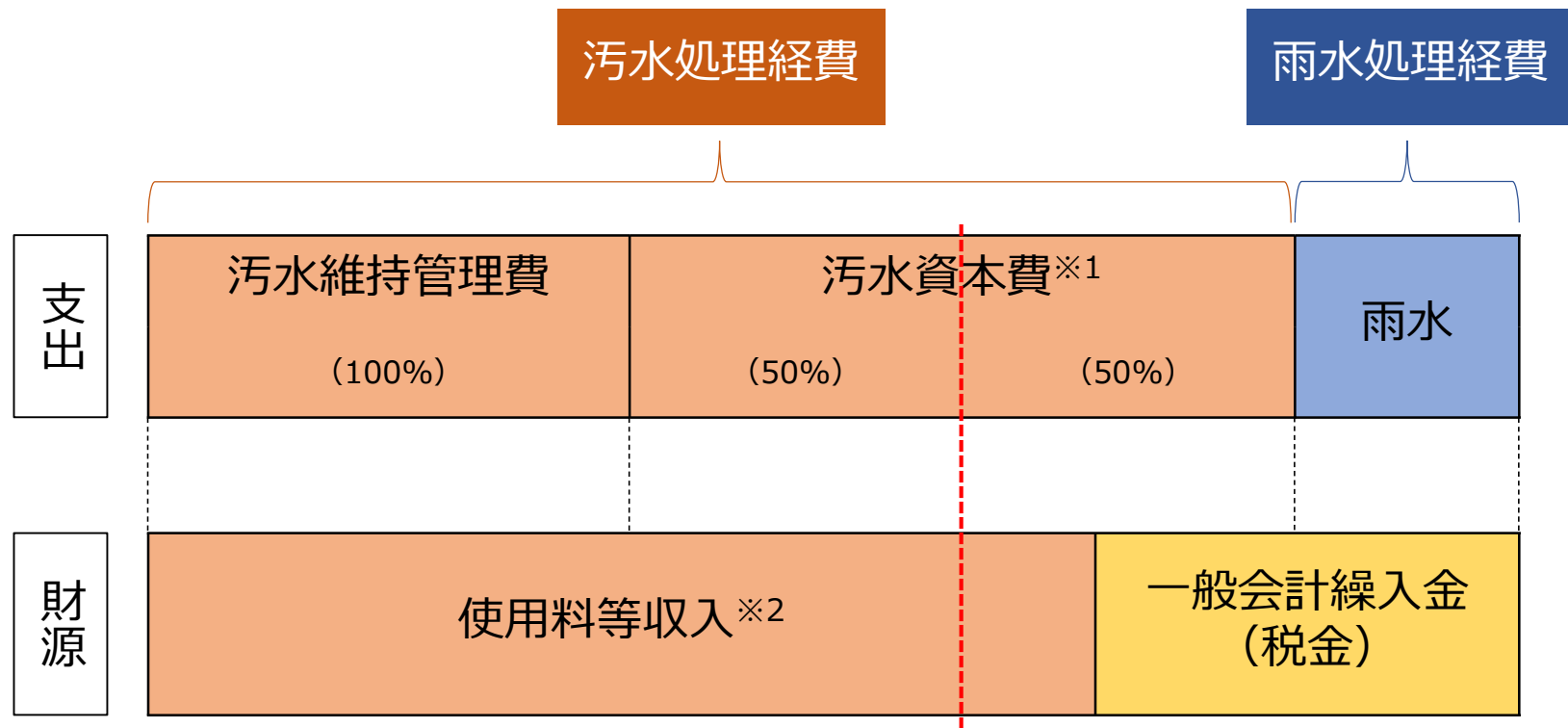


義務的経費である企業債の償還金が、施設の更新工事等に係る支出である建設改良費に比べ大きな割合を占めるため、支出の構造上、削減努力の余地が小さい。

過去の審議会での基本的な考え方（小浜市）

■ 維持管理費、資本費と使用料等の関係

以前からの審議会における公共下水道使用料の基本的な考え方として、維持管理費100%と資本費50%を使用料等の適正な対象経費として算定しています。



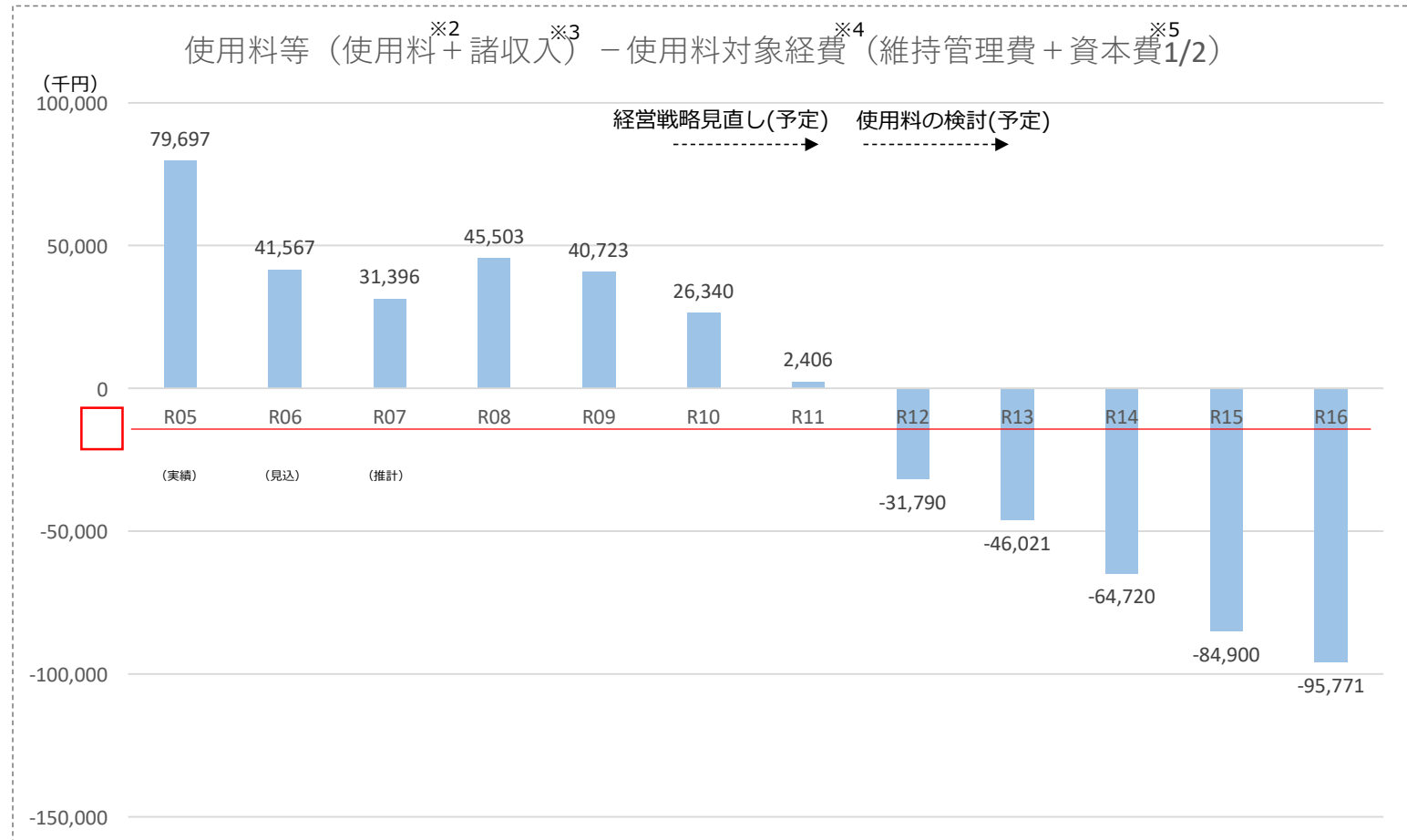
※1：資本費は、維持管理費（人件費、動力費、薬品費等）とともに下水道使用料金の対象となる経費であり、維持管理費が施設を運転して下水処理を行うことに係る費用（ランニングコスト）であるのに対し、資本費は下水道施設等の整備に係る費用（イニシャルコスト）であるといえます。本市のように複式簿記による会計を行う事業では、資本費は減価償却費および企業債（借入金）の利息等の合計によることとされています。

※2：「諸手数料その他事業運営に伴って収納する関連収入は、（中略）使用料対象経費の算定に当たっては当該収入相当額を控除する。（「下水道使用料算定の基本的考え方（2016年度版）」（（公社）日本下水道協会）より）とあるため、使用料のほか営業収益の「その他営業収益」や営業外収益の「雑収益」を加算しています。

過去の審議会での基本的な考え方（小浜市）

■ 維持管理費、資本費と使用料等の関係（見通し等）

令和11年度までは、現行の公共下水道使用料等（使用料単価約195円／m³）の収入で維持管理費100%と資本費50%を賄える見込みです※1。



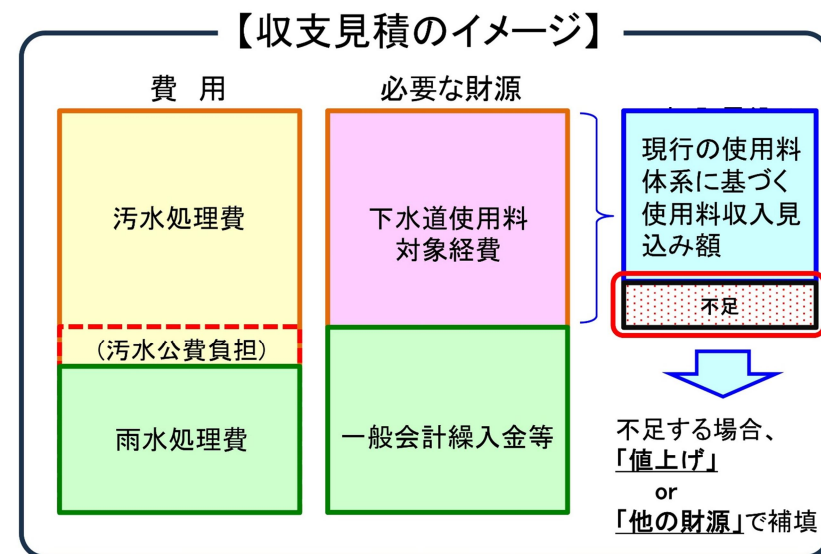
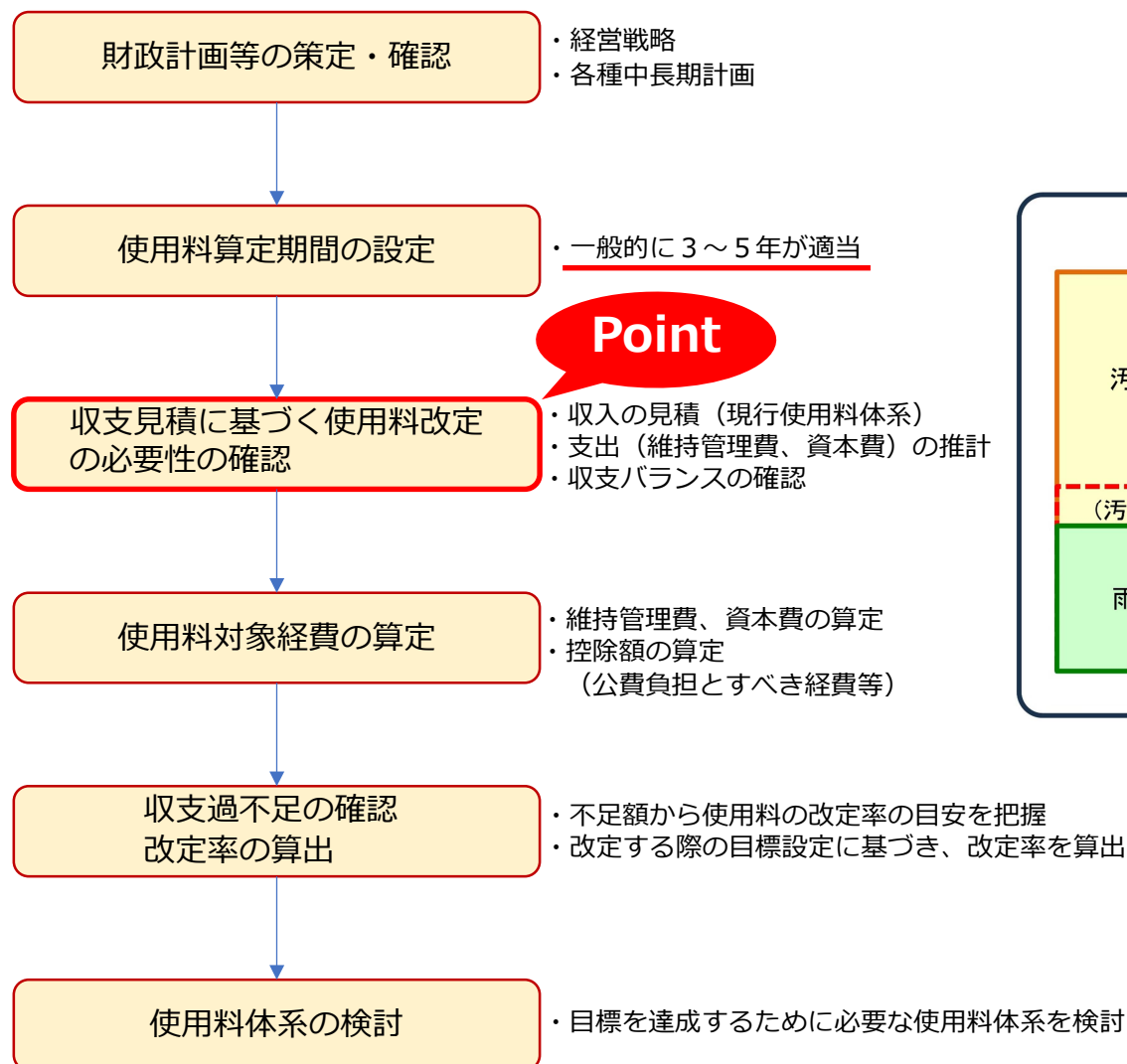
※1: R7年1月に改定した経営戦略の収支見通しを基に試算。今後の物価上昇等の影響で変動する可能性があります。

※2: 下水道使用料 ※3: 溝渠占用料、督促手数料、原子力立地給付金等。 ※4: 公費負担分を除く。

※5: 減価償却費（長期前受金分除く）、資産減耗費、借入金の利息

(再掲) 使用料算定の基本的考え方

■ 使用料検討の一般的な手順※



※「下水道使用料算定の基本的考え方（2016年版）」（（公社）日本下水道協会）より作成。
いずれの作業も各地方公共団体の実情に応じて、適宜、合理的な範囲で実態に即した検討を行うことが必要。

(再掲) 下水道事業会計の概要と状況について

収益的収支等の見通し

(単位千円)

	R7 (予算)	R8 (推計)	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
収益的収入	1,176,091	1,211,684	1,218,766	1,239,337	1,323,572	1,403,332	1,413,695	1,410,686	1,409,678	1,421,837
営業収入	516,534	531,315	536,334	545,436	566,528	587,022	582,769	573,128	557,558	554,311
料金収入	435,735	439,215	436,612	433,849	454,555	475,612	472,746	469,944	467,394	465,045
その他	80,799	92,100	99,722	111,587	111,973	111,410	110,023	103,184	90,164	89,266
営業外収入	659,557	680,369	682,432	693,901	757,044	816,310	830,926	837,558	852,120	867,526
他会計補助金	358,628	362,865	358,054	358,886	387,171	413,103	419,095	421,523	427,863	434,809
その他補助金	527	537	547	558	568	579	590	601	613	624
長期前受金戻入	298,788	315,353	322,217	332,843	367,691	401,014	409,627	413,820	422,030	430,478
その他	1,614	1,614	1,614	1,614	1,614	1,614	1,614	1,614	1,614	1,614
収益的支出	1,160,067	1,184,723								
営業費用	1,017,883	1,043,800								
職員給与費	34,855	35,125								
経費	278,842	274,653								
減価償却費	704,186	734,022								
営業外費用	142,184	140,923								
特別損失	155	155								
当期純利益	15,869	26,806								
繰越利益剰余金 または繰越欠損金	△ 241,106	△ 214,300	△ 195,440	△ 179,133	△ 164,296	△ 152,235	△ 138,083	△ 126,520	△ 124,406	△ 119,649

単年で汚水を処理するために
必要な費用と収益

収入ー支出

マイナスでない
(当期純利益)

(再掲) 下水道事業会計の概要と状況について

■ 資本的収支等の見通し

(単位千円)

	R7 (予算)	R8 (推計)	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
資本的収入	1,371,331	1,299,737	1,483,178	1,409,237	877,603	826,137	645,579	702,109	714,054	685,648
国(県)補助金	338,500	332,524	421,855	452,540	221,720	213,868	135,384	187,000	187,000	177,000
企業債	788,800	745,800	847,350	764,300	480,650	467,900	391,400	419,100	433,100	434,300
他会計出資金	236,058	213,440	206,000	184,424	167,579	137,018	111,732	89,220	87,425	68,066
その他									6,529	6,282
資本的支出									1,201,135	1,141,501
建設改良									410,000	390,000
企業債償			911,854	867,971	867,823	836,541	833,925	793,763	787,718	748,084
その他			3,417	3,417	3,417	3,417	3,417	3,417	3,417	3,417
収支の差額	△379,793	△457,911	△463,393	△451,151	△476,437	△477,121	△508,363	△505,071	△487,081	△455,853
補てん財源充当額	379,793	457,911	463,393	451,151	476,437	477,121	508,363	505,071	487,081	455,853
不足額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
企業債残高	9,654,746	9,469,693	9,405,189	9,301,518	8,914,345	8,545,704	8,103,179	7,728,516	7,373,898	7,060,114

収入—支出
資金が不足しない
(補てん財源が不足しない)

複数年使用する施設を整備する
ために必要な費用と財源

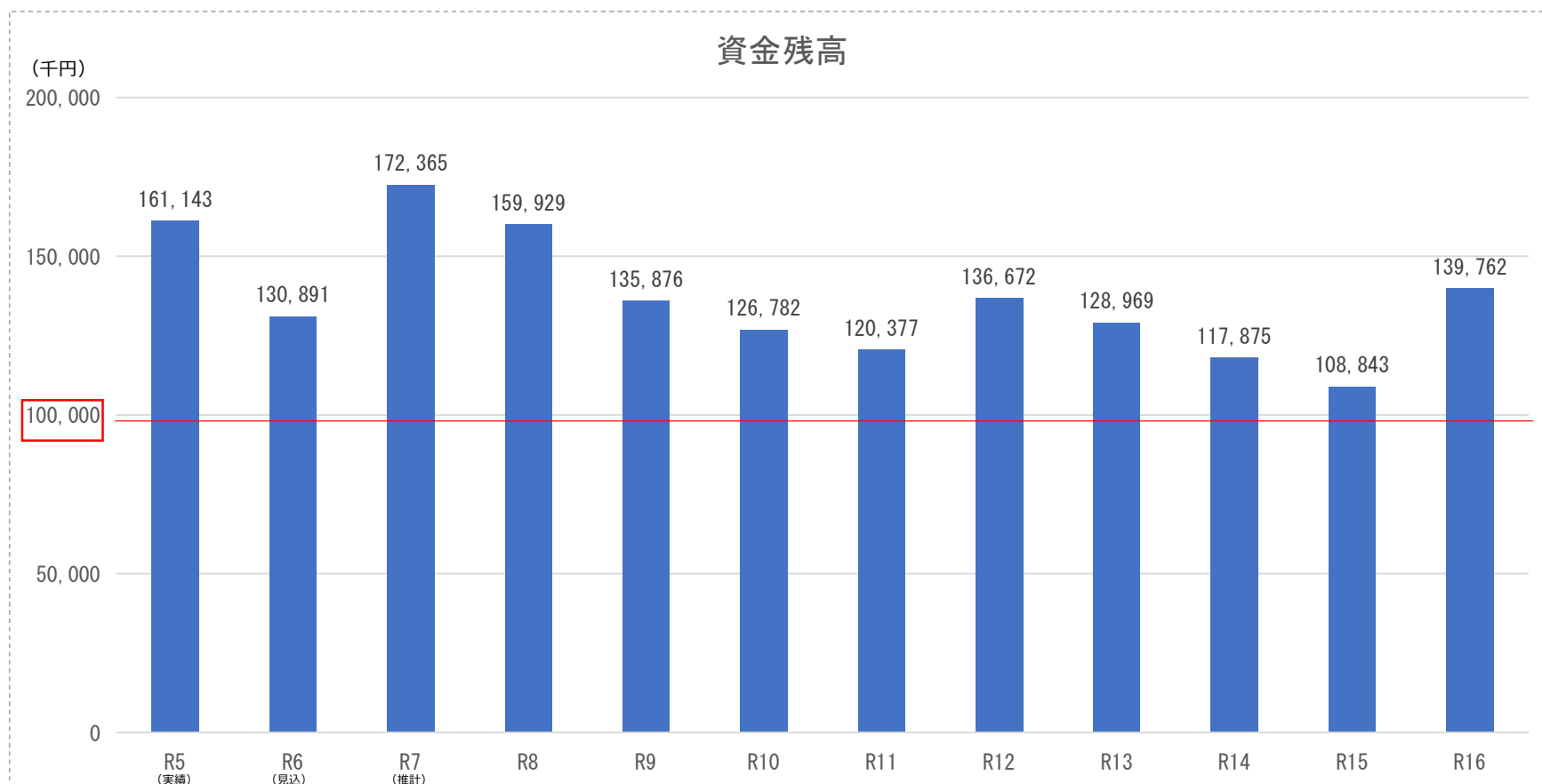
収支に基づく
一般会計からの繰入金

(単位千円)

他会計繰入金	674,990	667,910							604,957	591,647
収益的収支分	438,932	454,470							517,532	523,581
資本的収支分	236,058	213,440							87,425	68,066

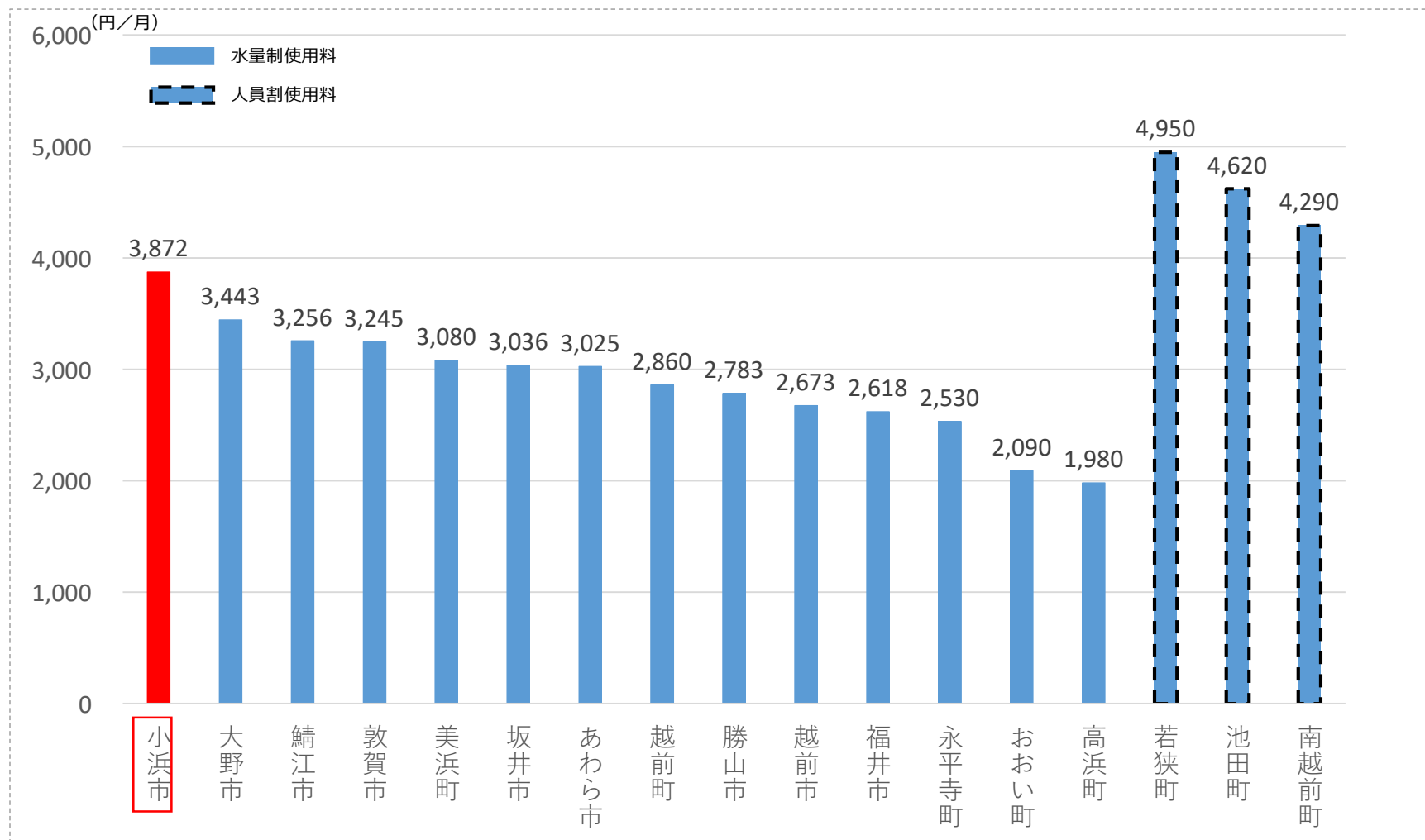
■ 資金残高の見通し

資金残高は一定金額（使用料収入の2か月分以上として1億円以上）を確保できる見込み。



(再掲) 下水道使用料の県内比較

福井県内市町別の一般家庭20m³/月・3人/家族（税込み月額）の公共下水道使用料（特定環境保全下水道含む）は次のとおりです。



公共下水道の使用料のあり方についての審議のポイント

- 人口減少や物価上昇等の影響が懸念される中、施設を維持するためには更新工事等に多額な費用が必要となることから、今後、経営環境は一層厳しさを増していくものと考えられる。
- 公共下水道事業の今後10年間の収支見通しは、一般会計との取り決めに基づく繰入金の計上を前提に、支出に対して必要な収入は確保できる見込み。
- 国の地方財政措置の基準とされる、下水道使用料150円／m³を上回っている。（※R6小浜市（R6年度決算）195円/m³）
- 市民生活への影響を最大限に考慮。

➡ **公共下水道使用料の据え置き**を提案。

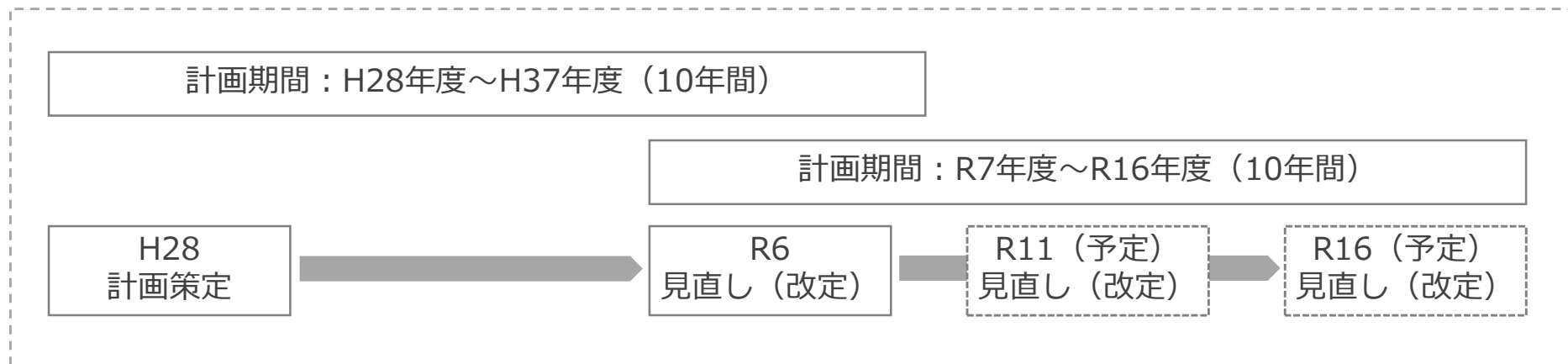
➡ 物価上昇等の影響を鑑み、令和12年度を目途に審議会の開催を提案。

小浜市下水道事業経営戦略について

- 経営戦略は、安定した下水道サービスを継続して提供するための経営の基本計画。
- 本計画に掲げる経営目標を達成するために取り組む「主要な施策」と、必要な投資額および財源の見通しを示した「投資・財政計画」で構成。



H28年度策定計画の評価・検証と近年の社会経済情勢の変化を踏まえ、R6年度に「主要な施策」と「投資・財政計画」を見直し。



小浜市下水道事業経営戦略について

H28策定計画の評価・総括

主要な施策

H28年度経営戦略で示した目標と主な取り組みについての達成度の評価や総括は、次のとおり。

経営目標	主な取り組み	達成度※1	総括
①清潔で快適な下水道	未着工区域の早期整備（整備率の向上）	◎	概ね達成しているが、引き続き水洗化率の向上や市民意識の醸成に努めることが必要。
	水洗化率の向上	○	
	「水」環境の保全（普及啓発活動による市民意識の醸成）	○	
②安心・安全な下水道	雨水渠の整備（浸水対策）	○	達成しているが、施設整備・防災に関することから取り組みの継続が必要であり、同様の目標設定が必要。
	下水道BCPの策定（災害時の業務体制整備）	◎	
	下水道施設の更新と耐震化（ストックマネジメント※2計画の策定と実施）	○	
③サービス向上と経営の透明化	地方公営企業法の適用	◎	地方公営企業法の適用、コンビニ収納サービスの導入は完了している。包括的民間委託の拡大は、性能発注方式への転換検討等、段階的に取り組んでいることから、同様の目標設定が必要。
	包括的民間委託の拡大（処理施設の保守管理等の包括的民間委託の検討）	○	
	コンビニ収納サービスの導入	◎	
④安定・合理化する事業経営	収納率、有収率の向上	△	使用料の適正化、投資の平準化、公共下水道への統合、収納率の向上は達成しているが、有収率は数値目標を未達成。事業経営に安定化、合理化が継続して必要であることから、同様の目標設定が必要。
	使用料の適正化（使用料の改定、料金審議会の開催）	○	
	投資の平準化と起債借入の抑制（ストックマネジメントによる事業費・起債の平準化）	◎	
	公共下水道への統合（農業集落排水施設の公共下水道への接続）	○	

※1:達成度の説明

主な取り組みの評価基準	達成度
完了もしくは数値目標を達成しており、成果が十分にあったもの	◎
数値の向上もしくは進捗があり、成果があったもの	○
数値の向上やあまり進捗がみられず、成果が不十分だったもの	△

※2:持続可能な下水道事業の実施を図るため、明確な目標を定め、膨大な施設の状況を客観的に把握・評価し、長期的な施設の状態を予測しながら、下水道施設を計画的かつ効率的に管理すること。

小浜市下水道事業経営戦略について

H28策定計画の評価・総括

経営指標

H28年度経営戦略で示した経営指標の評価や総括は、次のとおり。

経営指標の視点	経営指標	評価※1			総括		
		公共	農排	漁排	公共	農排	漁排
財政状態の健全性	経常収支比率（令和2年度以降の公共下水道事業のみ）	B	—	—	法適用時から累積欠損金※2が発生している。黒字経営を続け累積欠損金の解消が必要。企業債残高対事業規模比率の動向に留意が必要。	現状での課題は特に見当たらず良好。	—
	累積欠損金比率（令和2年度以降の公共下水道事業のみ）	B	—	—			
	企業債残高対事業規模比率	B	A	A			
施設利用の効率性	水洗化率	A	A	A	水洗化率は良好。有収率は類型団体平均と同程度。施設利用率は類似団体と同程度。	現状での課題は特に見当たらず良好。	水洗化率は良好。有収率は類型団体平均より低い横ばい。施設利用率は低下傾向であり、更新時期に合わせた規模の適正化の検討が必要。
	有収率	B	—	B			
	施設利用率	B	A	C			
経営の効率性	汚水処理原価	B	B	C	汚水処理原価は類型平均より高いが減少傾向。経費回収率は類似団体と同程度。	汚水処理原価は類型平均より高く概ね横ばい。経費回収率は良好。	汚水処理原価は類型平均より低い増加傾向。経費回収率（維持管理費）は100%を下回っており維持管理費を使用料収入で賄えていない状況。使用料の適正化や経費の削減に取り組む必要がある。
	経費回収率	B	A	C			

※1評価の説明

経営指標の評価基準	評価
現状での課題は特に見当たらず良好	A
現状では悪化していないが、今後課題となる可能性がある	B
悪化しているため、改善への取り組みを進める必要がある	C

※2:営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補てんすることができず、複数年度にわたって累積した損失（赤字）額のこと。

H28策定計画の評価・総括

経営指標

経営指標の例は、次の通り。

項目	累積欠損金比率	企業債残高対事業規模比率																																										
算定式	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$	$\frac{\text{企業債残高} - \text{一般会計負担額}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益} - \text{雨水処理負担金}} \times 100$																																										
指標の説明	営業収益に対する累積欠損金（営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した欠損金のこと）の状況を表す指標です。	使用料収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標です。																																										
実績	<table border="1"> <caption>累積欠損金比率実績 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>小浜市 (%)</th> <th>類似団体平均 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2※</td> <td>82</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>72</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>62</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>52</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	年度	小浜市 (%)	類似団体平均 (%)	R2※	82	18	R3	72	18	R4	62	22	R5	52	-	<table border="1"> <caption>企業債残高対事業規模比率実績 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>小浜市 (%)</th> <th>類似団体平均 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>1,750</td> <td>1,100</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,400</td> <td>950</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,250</td> <td>950</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1,300</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1,200</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>1,200</td> <td>750</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>1,050</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>1,000</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	年度	小浜市 (%)	類似団体平均 (%)	H28	1,750	1,100	H29	1,400	950	H30	1,250	950	R1	1,300	1,000	R2	1,200	800	R3	1,200	750	R4	1,050	800	R5	1,000	-
年度	小浜市 (%)	類似団体平均 (%)																																										
R2※	82	18																																										
R3	72	18																																										
R4	62	22																																										
R5	52	-																																										
年度	小浜市 (%)	類似団体平均 (%)																																										
H28	1,750	1,100																																										
H29	1,400	950																																										
H30	1,250	950																																										
R1	1,300	1,000																																										
R2	1,200	800																																										
R3	1,200	750																																										
R4	1,050	800																																										
R5	1,000	-																																										

※企業会計に移行したR2年度以降を掲載。

H28策定計画の評価・総括

経営指標

経営指標の例は、次の通り。

項目	施設利用率	污水处理原価（維持管理費＋資本費）																																																						
算定式	$\frac{\text{晴天時一日平均処理水量}}{\text{晴天時現在処理能力}} \times 100$	$\frac{\text{污水处理費（公費負担分除く）}}{\text{年間有収水量}}$																																																						
指標の説明	施設・設備が一日に対応可能な処理能力に対する、一日平均処理水量の割合であり、施設の利用状況や適正規模を判断する指標です。	有収水量1㎡あたりの污水处理に要した費用であり、污水处理に係るコストを表した指標です。																																																						
実績	<table border="1"> <caption>施設利用率実績 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>小浜市 (%)</th> <th>類似団体平均 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>63</td><td>55</td></tr> <tr><td>H29</td><td>64</td><td>55</td></tr> <tr><td>H30</td><td>63</td><td>54</td></tr> <tr><td>R1</td><td>63</td><td>52</td></tr> <tr><td>R2</td><td>64</td><td>57</td></tr> <tr><td>R3</td><td>63</td><td>57</td></tr> <tr><td>R4</td><td>62</td><td>57</td></tr> <tr><td>R5</td><td>65</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>	年度	小浜市 (%)	類似団体平均 (%)	H28	63	55	H29	64	55	H30	63	54	R1	63	52	R2	64	57	R3	63	57	R4	62	57	R5	65	-	<table border="1"> <caption>污水处理原価実績 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>小浜市 (¥/㎡)</th> <th>類型平均 (¥/㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>280</td><td>180</td></tr> <tr><td>H29</td><td>250</td><td>178</td></tr> <tr><td>H30</td><td>255</td><td>175</td></tr> <tr><td>R1</td><td>240</td><td>172</td></tr> <tr><td>R2</td><td>225</td><td>170</td></tr> <tr><td>R3</td><td>225</td><td>168</td></tr> <tr><td>R4</td><td>200</td><td>170</td></tr> <tr><td>R5</td><td>210</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>	年度	小浜市 (¥/㎡)	類型平均 (¥/㎡)	H28	280	180	H29	250	178	H30	255	175	R1	240	172	R2	225	170	R3	225	168	R4	200	170	R5	210	-
年度	小浜市 (%)	類似団体平均 (%)																																																						
H28	63	55																																																						
H29	64	55																																																						
H30	63	54																																																						
R1	63	52																																																						
R2	64	57																																																						
R3	63	57																																																						
R4	62	57																																																						
R5	65	-																																																						
年度	小浜市 (¥/㎡)	類型平均 (¥/㎡)																																																						
H28	280	180																																																						
H29	250	178																																																						
H30	255	175																																																						
R1	240	172																																																						
R2	225	170																																																						
R3	225	168																																																						
R4	200	170																																																						
R5	210	-																																																						

小浜市下水道事業経営戦略について

R6改定計画の方針と目標

基本方針

前回に引き続き、『安定・継続した下水道サービスを提供する』とする。

目標と主な取り組み

経営目標	主な取り組み	内容
①快適、安全、安心なまちのための下水道	下水道整備の推進	・ 県営産業団地整備にあわせ汚水施設の整備を進める。 ・ 宅地造成地や開発行為区域などで管渠整備を行う。
	雨水排水施設の整備	・ 千種排水区において竹原雨水渠の整備を進める。 ・ 水取排水区において雨水排水ポンプ場および雨水渠の整備を進める。
	ストックマネジメント計画に基づく処理場等更新の推進	・ スtockマネジメント計画に基づき、処理場等の更新・耐震化を進める。
	事業の広域化、共同化【新規】	・ 県、市町と連携し維持管理の事務統合や業務等の共同発注などの検討を進め、事務・事業の効率化により維持管理費の削減に努める。
	集落排水施設の更新と公共下水道への統合等	・ 甲ヶ崎処理施設、松永処理施設、国富処理施設の公共下水道への統合を進める。その他農業集落排水施設は機能強化事業に取り組む。
	災害対応体制の強化【新規】	・ 日本下水道事業団等と締結している協定に基づく訓練などを通して連携体制を強化する。
②安定経営で親しみやすい下水道	包括的民間委託の拡大	・ 性能発注への転換等によるコスト縮減、民間事業者により効率的・効果的に運用できるよう包括的民間委託の拡大検討を進める。
	収納率、有収率、水洗化率の向上	・ 収納率は前年度以上を目標として向上に努める。 ・ 有収率は不明水調査および施設の補修等を継続して実施することにより向上を目指す。 ・ 水洗化率は未水洗世帯等に戸別訪問等を行い向上に努める。
	下水道事業の見える化【新規】	・ 財務諸表を用いた事業の健全性・効率性の確認を行い、安定的かつ継続的なサービス提供に努める。 ・ 次世代を担う若年層を中心に下水道のPR活動を行い、下水道に対する意識の醸成に努める。
	使用料の適正化	・ 市下水道事業全体での負担の公平性や、経営見通しを踏まえた使用料の適正化について検討を進める。

■ 経費回収率向上に向けたロードマップ

① 経営健全化に関する定量的な業績指標および目標年限

➤ 経営戦略期間中（令和7年度～令和16年度）

項目	算定式	実績	目標										
※1 経常収支比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	<table><tr><th>年度</th><th>実績 (%)</th></tr><tr><td>R2</td><td>104.08</td></tr><tr><td>R3</td><td>105.12</td></tr><tr><td>R4</td><td>105.28</td></tr><tr><td>R5</td><td>104.04</td></tr></table>	年度	実績 (%)	R2	104.08	R3	105.12	R4	105.28	R5	104.04	100%以上
年度	実績 (%)												
R2	104.08												
R3	105.12												
R4	105.28												
R5	104.04												
※2 経費回収率 (維持管理費)	$\frac{\text{使用料収入}}{\text{汚水処理費} \times 100}$ ※3:公費負担分を除く	<table><tr><th>年度</th><th>実績 (%)</th></tr><tr><td>R2</td><td>181.9</td></tr><tr><td>R3</td><td>176.4</td></tr><tr><td>R4</td><td>171.9</td></tr><tr><td>R5</td><td>157.4</td></tr></table>	年度	実績 (%)	R2	181.9	R3	176.4	R4	171.9	R5	157.4	100%以上
年度	実績 (%)												
R2	181.9												
R3	176.4												
R4	171.9												
R5	157.4												
※4 経費回収率	$\frac{\text{使用料収入}}{\text{汚水処理費} \times 100}$ ※3:公費負担分を除く	<table><tr><th>年度</th><th>実績 (%)</th></tr><tr><td>R2</td><td>87.74</td></tr><tr><td>R3</td><td>88.52</td></tr><tr><td>R4</td><td>98.28</td></tr><tr><td>R5</td><td>93.65</td></tr></table>	年度	実績 (%)	R2	87.74	R3	88.52	R4	98.28	R5	93.65	90%以上
年度	実績 (%)												
R2	87.74												
R3	88.52												
R4	98.28												
R5	93.65												

18

小浜市下水道事業経営戦略の進捗管理

■ 経費回収率向上に向けたロードマップ

②経費回収率向上に向けた収入増加、支出削減の取り組みおよび実施時期

年度 項目	具体的な取り組み	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
経営戦略実施期間	—										
収入増加の取り組み	接続促進による収入増										
支出削減の取り組み	広域化・共同化										
	包括的民間委託の拡大検討										
	不明水対策										
経営戦略の見直し	—										
経営戦略の改定	—										
使用料の検討	—										
使用料の改定	—		※					※			

※使用料の検討で使用料の改定が必要とされた場合は、料金改定を行います。

小浜市下水道事業経営戦略について

経営戦略の進捗管理

- 毎年度、事業計画や各取組の進捗管理、目標指標の分析のため収支実績の確認、財政計画等の試算などの検証を行い、経営戦略の進捗を確認します。
- 改定後5年ごとに見直しを行うとともに、PDCAサイクル【計画策定（Plan）・実施（Do）・検証（Check）・見直し（Action）】を働かせ、適正かつ効率的な事業経営を目指します。



小浜市下水道事業 経営戦略【概要版】

1. 経営戦略の改定について【P1】

- ・平成 29 年 3 月に将来にわたって安定的な事業継続、経営の効率化・健全化推進のため、公共下水道事業、農業集落排水事業、漁業集落排水事業の 3 事業で、基本方針「安定・継続した下水道サービスを提供する」とした、経営の基本計画である「小浜市下水道事業経営戦略」を策定している。
- ・策定から約 8 年となり、地方公営企業法適用や会計統合、今後の投資計画の明確化など経営の考え方や状況が変化したことから、3 事業を 1 つとして経営戦略の改定を行うものである。
- ・経営戦略の計画期間は令和 7 年度～令和 16 年度の 10 年間としている。

2. 下水道事業の概要（令和 5 年度末）

○施設【P2～P4】

	公共下水道事業	農業集落排水事業	漁業集落排水事業
供用開始年度	平成 2 年度	昭和 63 年度	平成元年度
処理区域面積・人口密度	722ha・26.8 人/ha	396.6ha・17.5 人/ha	51ha・14.9 人/ha
処理能力	11,700 m ³ /日	3,360.5 m ³ /日	1,438.2 m ³ /日
処理場・中継ポンプ場数	1・2	11・0	8・0
処理区域内人口普及率	99.36%	100%	100%
水洗化率	93.35%	97.25%	99.08%
施設利用率	64.37%	77.72%	24.69%

○公共下水道使用料【P5】

(単位：円 (税込))

基本料金 (～8 m ³)	1,485
超過料金 (9～10 m ³) (11～30 m ³)	176、203
(31～50 m ³) (51～100 m ³) (101 m ³ ～)	220、231、247
20 m ³ 月額使用料	3,872

○農業集落排水使用料【P6～7】

(単位：円 (税込)、※換算で 3 人)

地域	太良庄	甲ヶ崎	谷田部	松永	堅海、宮川、国富、口名田、 勢浜、加斗、中名田
基本料金	3,300	4,840	4,840	4,840	4,840
人員割料金	429	605	660	880	1,045
20 m ³ 換算※月額使用料	4,587	6,655	6,820	7,480	7,975

○漁業集落排水使用料【P8】

(単位：円 (税込))

地域	阿納・犬熊、志積、矢代、田島	泊、宇久、加尾・西小川、仏谷
基本料金	3,850	4,620
超過料金 (21 m ³ ～)	242	440
20 m ³ 月額使用料	3,850	4,620

3. 下水道事業の現状と課題

○主な取り組みの評価基準と達成度について【P15】

主な取り組みの評価基準	達成度
完了もしくは数値目標を達成しており、成果が十分にあったもの	◎
数値の向上もしくは進捗があり、成果があったもの	○
数値の向上やあまり進捗がみられず、成果が不十分だったもの	△

○目標と主な取り組みの達成度・総括【P15～21】

目標	主な取り組み	達成度	総括
① 清潔で快適な下水道	a. 未着工区域の早期整備（整備率の向上）【P16】	◎	・概ね達成しているが、引き続き水洗化率の向上や市民意識の醸成に努めることが必要。
	b. 水洗化率の向上【P17】	○	
	c. 「水」環境の保全（普及啓発活動による市民意識の醸成）【P17】	○	
② 安心・安全な下水道	a. 雨水渠の整備（浸水対策）【P18】	○	・達成しているが、施設整備・防災に関することから取り組みの継続が必要であり、同様の目標設定が必要。
	b. 下水道 BCP の策定（災害時の業務体制整備）【P18】	◎	
	c. 下水道施設の更新と耐震化（ストックマネジメント計画の策定と実施）【P18】	○	
③ サービス向上と経営の透明化	a. 地方公営企業法の適用【P19】	◎	・地方公営企業法の適用、コンビニ収納サービスの導入は完了している。包括的民間委託の拡大は、性能発注方式への転換検討等、段階的に取り組んでいることから、同様の目標設定が必要。
	b. 包括的民間委託の拡大（処理施設の保守管理等の包括的民間委託の検討）【P19】	○	
	c. コンビニ収納サービスの導入【P19】	◎	
④ 安定・合理化する事業経営	a. 収納率、有収率の向上【P20】	△	・使用料の適正化、投資の平準化、公共下水道への統合、収納率の向上は達成しているが、有収率は数値目標を未達成。事業経営に安定化、合理化が継続して必要であることから、同様の目標設定が必要。
	b. 使用料の適正化（使用料の改定、料金審議会の開催）【P21】	○	
	c. 投資の平準化と起債借入の抑制（ストックマネジメントによる事業費・起債の平準化）【P21】	◎	
	d. 公共下水道への統合（農業集落排水施設の公共下水道への接続）【P21】	○	

○経営指標の評価基準と評価について【P22】

経営指標の評価基準	評価
現状での課題は特に見当たらず良好	A
現状では悪化していないが、今後課題となる可能性がある	B
悪化しているため、改善への取り組みを進める必要がある	C

○経営指標の視点、評価・総括【P22～41】

視点	経営指標	評価	総括
財政状態の健全性	①経常収支比率（令和2年度以降の公共下水道事業のみ）【P25】	公共：B 農排：－ 漁排：－	【公共下水道事業】 ・法適用時から累積欠損金が発生している。黒字経営を続け累積欠損金の解消が必要。企業債残高対事業規模比率の動向に留意が必要。 【農業集落排水事業・漁業集落排水事業】 ・現状での課題は特に見当たらず良好。
	②累積欠損金比率（令和2年度以降の公共下水道事業のみ）【P26】	公共：B 農排：－ 漁排：－	
	③企業債残高対事業規模比率【P27, 28】	公共：B 農排：A 漁排：A	

施設利用の効率性	④水洗化率【P29, 30】	公共：A 農排：A 漁排：A	【公共下水道事業】 ・水洗化率は良好。有収率は類型平均と同程度。施設利用率は類似団体と同程度。
	⑤有収率【P31】	公共：B 農排：－ 漁排：B	【農業集落排水事業】 ・現状での課題は特に見当たらず良好。 【漁業集落排水事業】
	⑥施設利用率【P32, 33】	公共：B 農排：A 漁排：C	・水洗化率は良好。有収率は類型平均より低い横ばい。施設利用率は低下傾向であり、更新時期に合わせた規模の適正化の検討が必要。
経営の効率性	⑦汚水処理原価【P34～37】	公共：B 農排：B 漁排：C	【公共下水道事業】 ・汚水処理原価は類型平均より高いが減少傾向。経費回収率は類似団体と同程度。
	⑧経費回収率【P38～41】	公共：B 農排：A 漁排：C	【農業集落排水事業】 ・汚水処理原価は類型平均より高く概ね横ばい。経費回収率は良好。 【漁業集落排水事業】 ・汚水処理原価は類型平均より低い増加傾向。経費回収率（維持管理費）は100%を下回っており維持管理費を使用料収入で賄えていない状況。使用料の適正化や経費の削減に取り組む必要がある。

○使用料収入の見通し【P44】

- ・人口の減少に伴って減少傾向となる。ただし、令和8～12年度で農業集落排水施設の公共下水道への統合があり、公共下水道事業で一旦増加、農業集落排水事業で大きな減少が見込まれる。

（単位：千円（税抜））

事業別	R5 年度	R12 年度	R16 年度
公共下水道事業	443,076	475,612	465,045
農業集落排水事業	214,434	137,808	135,916
漁業集落排水事業	25,620	24,368	23,962
合計	683,130	637,788	624,923

○施設の見通し【P46～49】

- ・公共下水道事業については、ストックマネジメント計画（第1期）に基づき処理場の改築・改修を行ってきたが、耐用年数を超過した施設が多く残っている。そのため、ストックマネジメント計画（第2期）を策定しており、計画に基づいた改築・改修を行っていく。
- ・農業集落排水事業については、機能診断調査の結果、処理施設や管路施設の一部で老朽化が認められたことから、地区別に施設の改築・改修を行い、機能回復を進めていく。
- ・漁業集落排水事業については、処理施設の一部で老朽化が見受けられることから、改築・改修の検討が必要。また、施設利用率が低いことから、規模の適正化についても検討が必要。

4. 基本方針と目標

○基本方針【P50】

- ・ 前回に引き続き、『安定・継続した下水道サービスを提供する』とする。

○目標と主な取り組み【P50～54】

目標	主な取り組み	内容
① 快適、安全、安心なまちのための下水道	a. 下水道整備の推進	・ 県営産業団地整備にあわせ汚水施設の整備を進める。 ・ 宅地造成地や開発行為区域などで管渠整備を行う。
	b. 雨水排水施設の整備	・ 千種排水区において竹原雨水渠の整備を進める。 ・ 水取排水区において雨水排水ポンプ場および雨水渠の整備を進める。
	c. ストックマネジメント計画に基づく処理場等更新の推進	・ ストックマネジメント計画に基づき、処理場等の更新・耐震化を進める。
	d. 事業の広域化、共同化【新規】	・ 県、市町と連携し維持管理の事務統合や業務等の共同発注などの検討を進め、事務・事業の効率化により維持管理費の削減に努める。
	e. 集落排水施設の更新と公共下水道への統合等	・ 甲ヶ崎処理施設、松永処理施設、国富処理施設の公共下水道への統合を進める。その他農業集落排水施設は機能強化事業に取り組む。
	f. 災害対応体制の強化【新規】	・ 日本下水道事業団等と締結している協定に基づく訓練などを通して連携体制を強化する。
② 安定経営で親しみやすい下水道	a. 包括的民間委託の拡大	・ 性能発注への転換等によるコスト縮減、民間事業者により効率的・効果的に運用できるよう包括的民間委託の拡大検討を進める。
	b. 収納率、有収率、水洗化率の向上	・ 収納率は前年度以上を目標として向上に努める。 ・ 有収率は不明水調査および施設の補修等を継続して実施することにより向上を目指す。 ・ 水洗化率は未水洗世帯等に戸別訪問等を行い向上に努める。
	c. 下水道事業の見える化【新規】	・ 財務諸表を用いた事業の健全性・効率性の確認を行い、安定的かつ継続的なサービス提供に努める。 ・ 次世代を担う若年層を中心に下水道の PR 活動を行い、下水道に対する意識の醸成に努める。
	d. 使用料の適正化	・ 市下水道事業全体での負担の公平性や、経営見通しを踏まえた使用料の適正化について検討を進める。

5. 事業計画（投資・財政計画）

○投資の検討条件【P55】

- ・ 公共下水道事業：普及拡大、浸水対策、改築・改修に 10 年間で延べ約 62 億円
- ・ 農業集落排水事業：機能強化事業等に 10 年間で延べ約 6 億円

○財源の考え方【P59】

- ・下水道事業は、「独立採算制」と「受益者負担」の経営原則に基づき、一般会計との間に適正な経費負担区分を前提に健全経営の継続が必要。
- ・経費の負担は、雨水処理に要する経費は公費（租税）で、汚水処理に要する経費は下水道使用者からの私費（使用料）。ただし、汚水処理に関して、一般会計との一定の負担区分に基づく繰入の対象。
- ・下水道整備は先行投資が多額となる事業であり世代間で負担に差が生じることから、資本費平準化債により負担の一部を後年度に繰り延べることが可能。
- ・整備財源については国庫・県補助金の活用や、事業効果が長期にわたることから企業債の発行により賄う。

○収支見通しについて【P59】

- ・公共下水道事業、農業集落排水事業は、経費回収率等の経営指標が概ね良好であること、資金残高を一定額程度確保できること、起債残高の減少傾向が続くことなどから、支出に対して必要な収入は確保できる見込み。ただし、支出については維持管理費の増加、収入については一般会計からの繰入や資本費平準化債の借入が多額であることを考慮し、財源の考え方の整理、検討が必要。
- ・漁業集落排水事業は、維持管理費が使用料収入を上回り経費回収率（維持管理費）100%未満が続くことや、資本費平準化債の借入ができないことなどから、一般会計からの繰入金で支出に対して必要な収入を確保している。一般会計からの繰入金については、削減が必要であることから、使用料改定が必要となるが、大幅な使用料の増額改定が見込まれることから、利用率の低い施設のダウンサイジングといった、規模の適正化による抜本的な対策が必要。

6. 経営戦略の進捗管理

○経費回収率向上に向けたロードマップ【P63】

- ・社会資本整備総合交付金における、国の通知に基づく公共下水道事業における経費回収率の向上に向けたロードマップを示す。

年度 項目	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
経営戦略の見直し										
経営戦略の改定										
使用料の検討										
使用料の改定		※					※			

※使用料の検討で改定が必要とされた場合は、料金改定を行う。

○経営戦略の進捗管理【P63】

- ・毎年度、事業計画や各取組の進捗管理、目標指標の分析のため収支実績の確認、財政計画等の試算などの検証を行い、経営戦略の進捗を確認する。改定後5年ごとに見直しを行うとともに、PDCA サイクル【計画策定（Plan）・実施（Do）・検証（Check）・見直し（Action）】を働かせ、適正かつ効率的な事業経営を目指す。

審議会の日程および概要（予定）

年度	回	月 日	概要
令和 7 年度	第 1 回	1 1 月 2 5 日	委員委嘱、会長および副会長選出、 諮問、下水道事業の概要等説明
	第 2 回	1 月 2 8 日	施設見学（小浜浄化センター）
			下水道事業の会計の仕組みや現状等説明
	第 3 回	3 月 1 7 日	経営状況等の説明
令和 8 年度	第 4 回	5 月 2 1 日	料金改定の有無等
	第 5 回	7 月中旬～下旬	答申案について
	答 申	8 月下旬	審議会の意見を市長へ答申

※現時点の予定ですので、今後変更となる可能性があります。